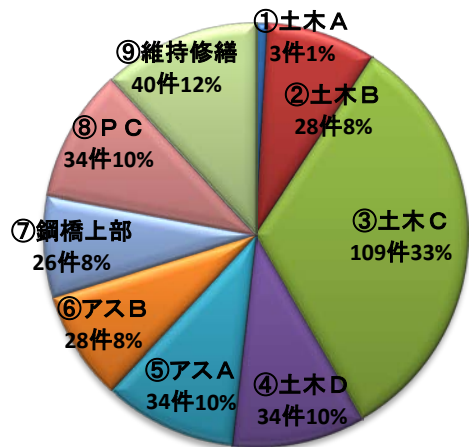


# 業務効率化 アンケート調査結果

---

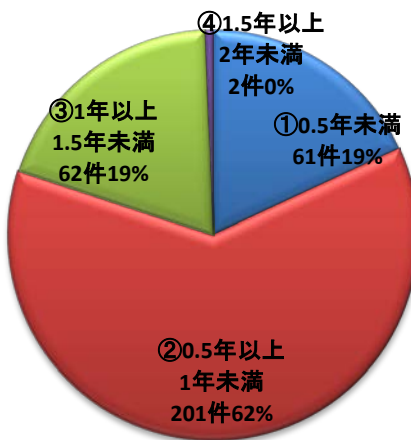
# アンケート回答工事の概要

## 工種 (336件)



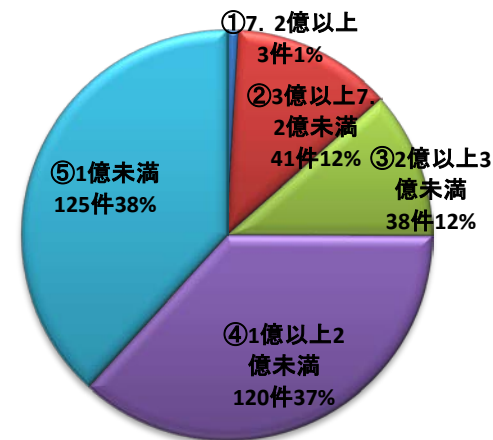
1) 工種は、土木A、C以外はほぼ同数

## 工期 (326件)



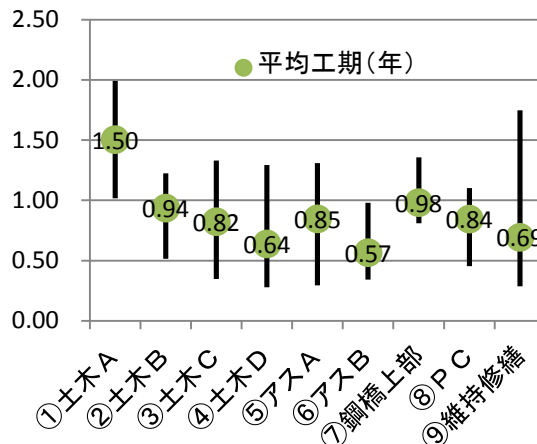
2) 工期は、6ヶ月～1年が約60%

## 契約金額 (327件)



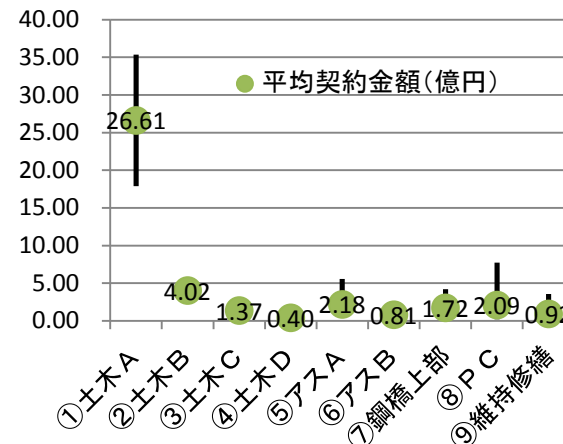
3) 契約金額は、2億円未満が75%

## 工種別工期



4) 最長は土木Aの1.5年、最短はアスBの0.57年  
工期の幅が大きいのは維持修繕

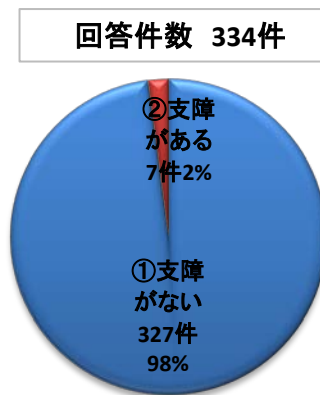
## 工種別契約金額



5) 最大は土木Aの26.61億円、最小は土木Dの0.40億円  
契約金額の幅が大きいのは土木A

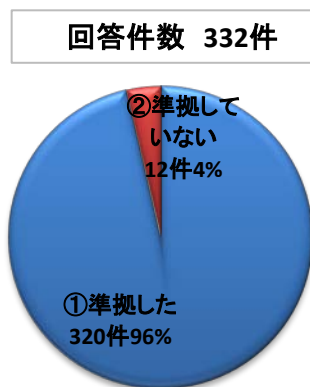
主任監督員 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q1】削減した工事書類や提出から提示に変わった工事書類により監督業務への支障はあったか



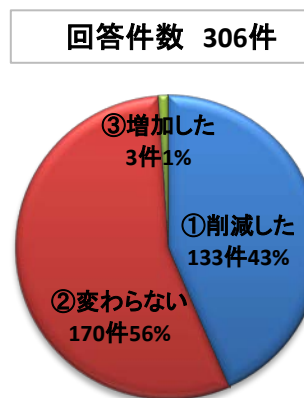
98%の主任監督員は監督業務に支障がなかった

【Q2】提出書類は「工事関係書類一覧表」に準拠したか



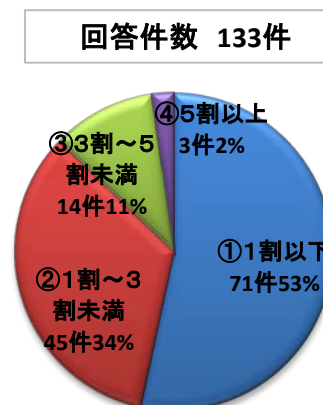
提出書類の「一覧表」準拠は96%

【Q2-1】Q2で①の場合、従前と比較し、提出書類作成にかかる業務量は変わったか



準拠した場合、提出書類作成の業務量が削減されたのは43%、削減されなかったのは56%

【Q2-1】Q2-1で①の場合、削減した割合

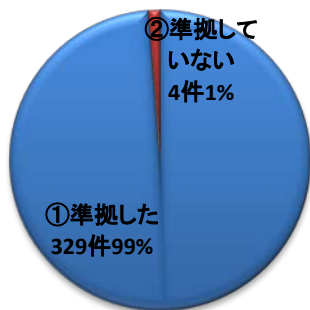


業務量の削減割合は、3割未満が87%

主任監督員 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q3】提示書類は「工事関係書類一覧表」に準拠したか

回答件数 333件

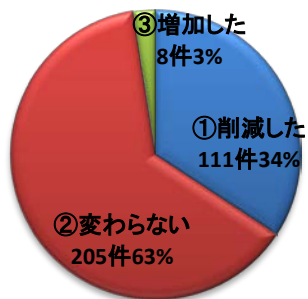


提示書類の一覧表準拠は99%

準拠した場合

【Q3-1】Q3で①の場合、従前と比較し、提示書類作成にかかる業務量は変わったか

回答件数 324件

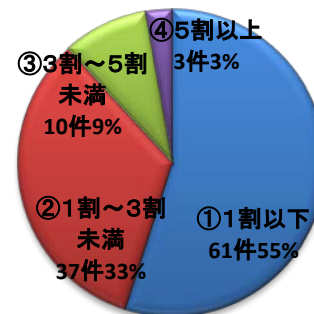


準拠した場合、提示書類作成の業務量が削減されたのは34%、削減されなかったのは66%

削減した場合

【Q3-1】Q3で①の場合、削減した割合

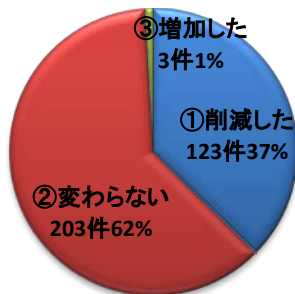
回答件数 111件



業務量の削減割合は、3割未満が88%

【Q4】従前と比較し、提出及び提示書類の作成にかかる業務量は全体として変わったか

回答件数 329件

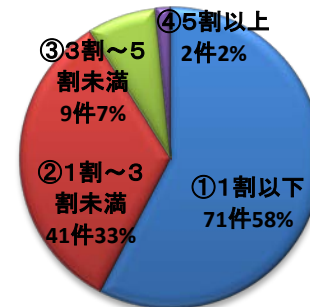


提出・提示書類の作成業務量が削減されたのは37%削減されなかったのは63%

削減した場合

【Q4】Q4で①の場合、削減した割合

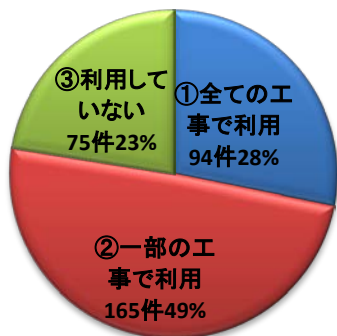
回答件数 123件



業務量の削減割合は3割未満が91%

【Q5】担当工事で、情報共有システムを利用したか。

回答件数 334件



全ての工事で利用した場合

情報共有システムを全工事・一部工事で利用しているのは77%

一部の工事で利用した場合

利用していない場合

【Q5】①の場合、今後も利用したいと思うか

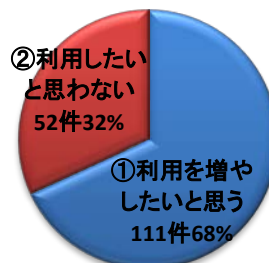
回答件数 94件



情報共有システムを全工事で利用している場合、今後の利用希望は91%

【Q5】②の場合、今後は利用を増やしたいと思うか

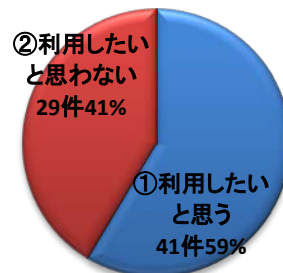
回答件数 163件



情報共有システムを一部工事で利用している場合、今後の利用増の希望は68%

【Q5】③の場合また、今後は利用したいと思うか

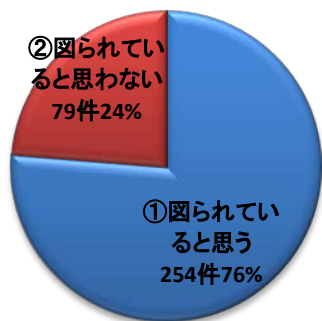
回答件数 70件



情報共有システム未利用の場合、今後の利用希望は59%

【Q6】通達(※)の周知徹底が図られていると思うか

回答件数 333件



※次の3つの通達

- ・土木工事における受発注者の業務効率化の推進について(平成22年9月29日)
- ・土木工事における受発注者の業務効率化の実施について(平成22年9月29日)
- ・土木工事における電子納品の運用等の策定について(平成22年9月29日)

業務効率化、電子納品の通達が周知徹底されていると思っているのは76%

【Q9】通達を周知するために発注者として行っていること

(回答全97件)

番号	発注者として行っていること	回答件数
1	設計変更確認会議、安全協議会、初回打合せ時等で説明(個別の対応)	56
2	関連資料の配布(個別の対応)	7
3	特記仕様書に添付	6
4	合同説明会を開催し受注者に周知	4
5	本局のホームページに掲載していることを通知	3
6	その他	20

検査職員 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q1】削減した工事書類により検査業務への支障はあったか

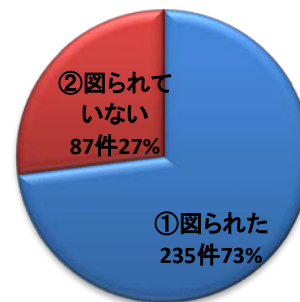
回答件数 331件



97%の検査職員は検査業務に支障がなかった

【Q2】本取組みにより、検査の効率化が図られたか

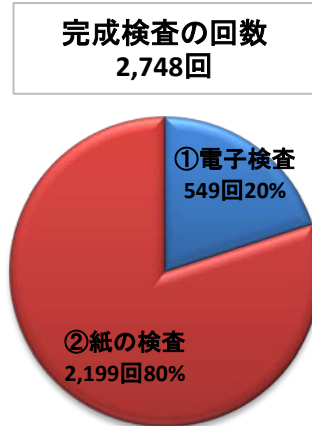
回答件数 322件



業務効率化の取組みにより、検査の効率化が図られたのは73%

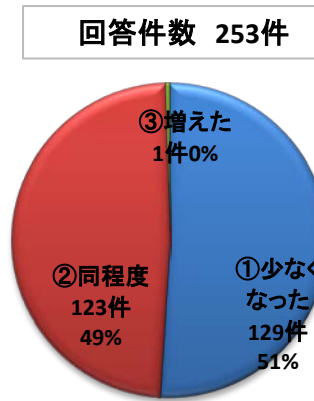
## 検査職員 2. 電子検査について

【Q3】「紙による検査」と「電子検査（一部紙可）」、それぞれ何回行ったか



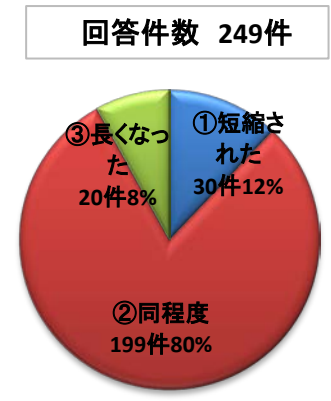
紙による完成検査が80%

【Q4】情報共有システムを活用したことにより、検査全体を通じて使用した紙資料の量は従前より削減されたか



情報共有システムの活用で、検査に使用した紙資料が少なくなったのは51%

【Q5】情報共有システムを活用したことにより、検査に要する時間は短縮されたか



情報共有システムを活用した工事のうち80%は検査時間は同程度

【Q2】で検査が効率化されたと回答した検査職員73% (235件)のうち、検査紙資料量と検査時間の変化に対する回答の内訳

		検査時間			合計	割合 (%)
		短縮された	同程度	長くなった		
紙資料の量	少なくなった	25	65	6	96	52
	同程度	2	83	3	88	48
	増えた	0	0	0	0	0
合計		27	148	9	184	100
割合 (%)		15	80	5	100	

【Q2】で検査が効率化されなかったと回答した検査職員27% (87件)のうち、検査紙資料量と検査時間の変化に対する回答の内訳

		検査時間			合計	割合 (%)
		短縮された	同程度	長くなった		
紙資料の量	少なくなった	0	16	6	22	41
	同程度	0	28	3	31	57
	増えた	0	0	1	1	2
合計		0	44	10	54	100
割合 (%)		0	81	19	100	



【Q6】電子検査で改善すべき点(回答全94件)

電子検査で改善すべき点(主なもの)

【システム】

- ①資料のタグ付け等の事前の整理・準備が必要
- ②セキュリティー上LANを使用できないので、無線ルーターを使用しており、動作に時間がかかる
- ③システムによって使い易さが異なるので、システム間のレベルを合わせて欲しい
- ④システムのサポートセンターの開設や、タブレット機器等のリース
- ⑤体系的に印刷できるようにしてほしい

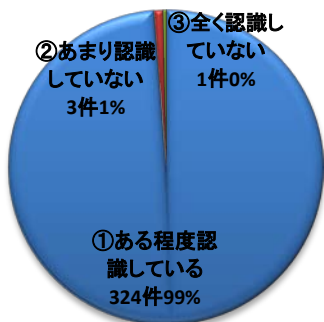
【運用上】

- ①紙の方が効率的(現行のままでよい)
- ②紙か電子か選択できるようにしてほしい
- ③情報共有システムの理解が必要
- ③数をこなし慣れることが必要
- ④協議書、承諾書は意見交換が必要
- ⑤監督職員から受注者に対し、電子での検査を周知
- ⑥大型スクリーン、プロジェクタ等の使用も必要

施工者 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q1】工事書類は共通仕様書等に基づき作成することを認識しているか

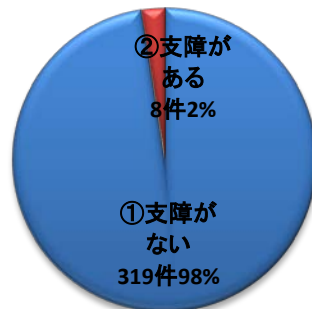
回答件数 328件



工事書類を共通仕様書等に基づき作成することを認識しているのは99%

【Q2】削減した工事書類や提出から提示に変わった工事書類や提出から提示に変わった工事書類により業務への支障はあったか

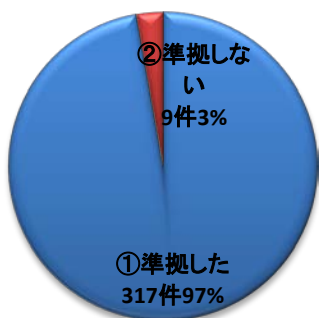
回答件数 327件



98%の施工者は業務に支障がなかった

【Q3】提出書類は「工事関係書類一覧表」に準拠したか

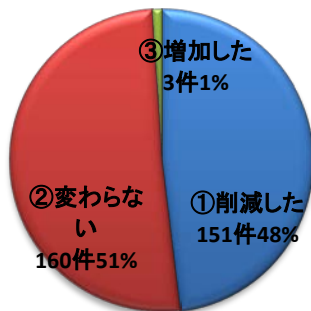
回答件数 326件



提出書類の一覧表準拠は97%

【Q3-1】Q3で①の場合、従前と比較し、提出書類作成にかかる業務量は変わったか

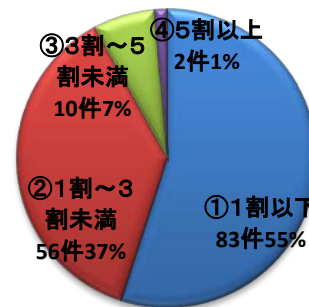
回答件数 314件



準拠した場合、提出書類作成の業務量が削減されたのは48%

【Q3-1-2】Q3-1で①の場合、削減した割合

回答件数 151件

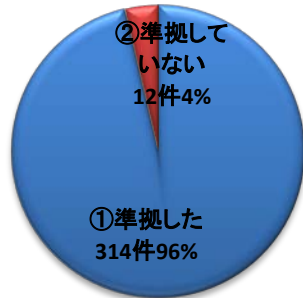


業務量の削減割合は、3割未満が92%

施工者 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q4】提示書類は「工事関係書類一覧表」に準拠したか

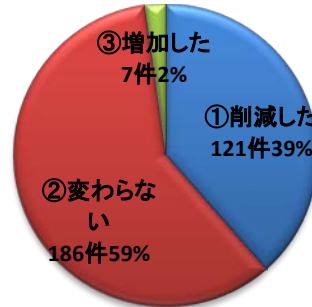
回答件数 326件



提示書類の一覧表準拠は96%

【Q4-1】Q4で①の場合、従前と比較し、提示書類作成にかかる業務量は変わったか

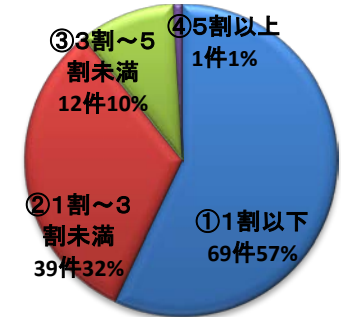
回答件数 314件



準拠した場合、提示書類作成の業務量が削減されたのは39%

【Q4-1】Q4で①の場合、削減した割合

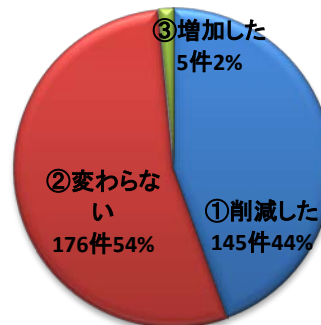
回答件数 121件



業務量の削減割合は、3割未満が89%

【Q5】従前と比較し、提出及び提示書類の作成にかかる業務量は変わったか

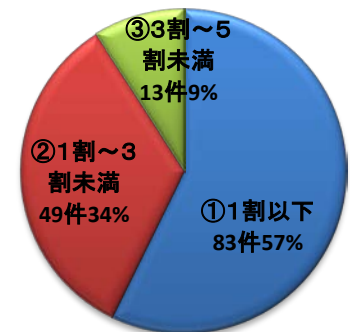
回答件数 326件



提出・提示書類の作成業務量が削減されたのは44%、削減されなかったのは56%

【Q5】Q5で①の場合、削減された割合

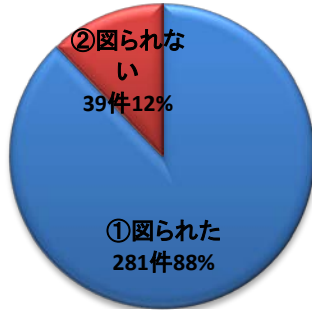
回答件数 145件



業務量の削減割合は3割未満が91%

【Q6】「工事関係書類一覧表」の工事完成時欄の書類を限定したことにより、検査の効率化が図られたか

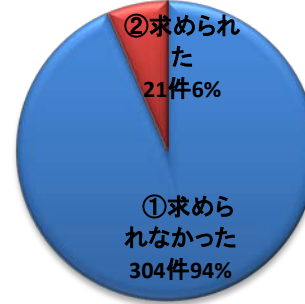
回答件数 320件



工事完成時の書類限定により、検査の効率化が図られたとの回答が88%

【Q7】「工事関係書類一覧表」の提出及び提示書類以外の資料・工事書類について、発注者から作成を求められたか

回答件数 325件

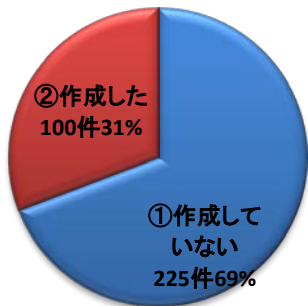


発注者から一覧表以外の書類作成要求があったのは6%

施工者 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q8】「工事関係書類一覧表」の提出及び提示書類以外の資料・工事書類について、自主的に作成したか

回答件数 325件



作成した場合



一覧表以外の書類を自主的に作成したのは31%

【Q8-2-1】Q8で②の場合、その資料・工事書類の種類は何か(回答全96件)

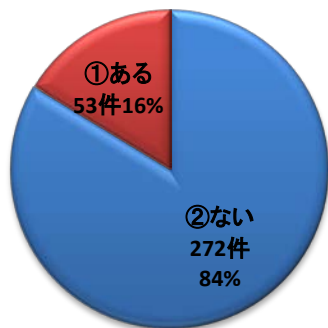
【Q8-2-2】Q8で②の場合、その量はどれくらいか(回答全95件)

【Q8-1】Q8で②の場合、その理由(回答全106件)

番号	分類	資料・工事書類の種類	量	作成した理由	回答件数
3	検査への配慮	安全管理資料・下請関係資料等	ファイル10冊程度	検査時に説明する為	37
2	施工管理	交通誘導員集計表 出来高管理表	ファイル2冊	施工管理のバックデータ	34
5	施工プロセス	過積載防止関係書類	紙ファイル1冊程度	施工プロセスチェックに必要	7
6	社内ISO	KY活動、工事日報、各種点検表、材料検取簿、情報共有システム登録書類(施工計画書・段階確認書・工事打合簿)	ドッジファイル 6冊	社内ISOに必要な書類	5
1	設計変更	工事用道路変状調査検討報告書	A4用紙で130枚位	設計変更	3
4	発注者の要望	施工体制台帳(下請の書類)	約100枚	発注者の要望	1
7	資料量が少量		A4で10枚以下、かつ、A1で2枚以下		19

【Q9】過去の検査等において指摘され、それ以来作成している書類はあるか

回答件数 325件



作成している書類がある場合



過去の検査等の指摘以来、作成している書類があるのは16%

【Q9-2-1】Q9で①の場合、その資料・工事書類の種類は何か(回答全51件)

【Q9-2-2】Q9で①の場合、その量はどれくらいか(回答全51件)

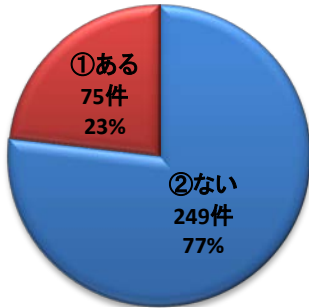
【Q9-1】Q9で①の場合、その理由(回答全60件)

番号	分類	資料・工事書類の種類	量	作成している理由	回答件数
3	下請支払・引渡	下請業者との金額の出来高清算(完成通知書)	A4で30枚位	検査官からの質問に即答できるように	19
2	証拠の確認	施工計画と現場が一致していることを証明する書類や写真	30枚	検定時に指摘される恐れがあるため	7
4	出来形管理	出来形数量対比表	20枚	以前検査で指摘されたことがある	6
5	品質管理	工場製作時の孔ばり管理資料	20枚程度	工事完成検査時に検査官から質問があった為	4
7	施工ダイジェスト写真集	施工ダイジェスト写真集及び説明資料	A3で15枚くらい		4
6	施工プロセス	参考資料として項目ごとにすべて	10～15冊程度	施工プロセスチェック施工項目確認の為のバックデータ	1
1	安全関係	安全関係の書類	ドッジファイル2冊程度	検査時にそれらの書類がないとスムーズに検査が行われない。また、指摘を受ける	1
8	資料量が少量		A4で10枚以下、かつ、A1で2枚以下		18

施工者 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q10】成績評定を上げるために、規定されていないが作成した書類はあるか

回答件数 324件



作成した書類がある場合



成績を上げるために規定以外の書類を作成したのは23%

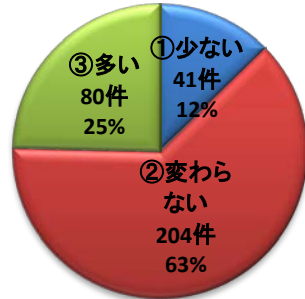
【Q10-1】Q10で①の場合、その資料・工事書類の種類は何か(回答全75件)  
 【Q10-2】Q10で①の場合、その量はどれくらいか(回答全94件)

番号	分類	作成した資料・工事書類の種類	量	回答件数
11	安全関係	安全管理関係	30枚	17
1	工事概要	工事写真のダイジェスト版	A3 20枚	12
7	出来形管理	出来形管理	50枚程度	9
10	品質管理	防水シート等の品質管理試験記録	ドッジファイル2冊	9
3	創意工夫	創意工夫	ドッジファイル3冊	8
5	新技術	新技術活用効果申請書及び、報告書	フラットファイル1冊	6
2	環境	環境対策の取組等	ドッジファイル 1冊	4
13	検査時のバックデータ	検査時に使用する可能性のあるバック資料	20枚程度	4
14	下請の検査	下請け検査記録書(施工途中の出来形確認写真、完成検査及び写真、支払関係書類、完成届等)	下請け業者1社につき5枚程度	3
4	社会貢献	社会貢献	約20枚	2
6	下請支払	下請出来高精算資料	ファイル1冊	2
9	社内検査	自主的社内検査	ファイル1冊	2
8	工程管理	工程管理表(工期短縮)	10~30枚	1
12	地元調整	地元調整の記録、他工事との調整	紙ファイル20冊	1
15	資料量が少量		A4で10枚以下、かつ、A1で2枚以下	14

施工者 1. 提出を求める工事書類の明確化及び削減

【Q11】国土交通省発注工事での提出及び提示書類の作成量は、他公共機関発注工事と比べて多いと感じるか

回答件数 325件



国交省が多いと感じる場合



提出・提示書類の作成量が他公共発注機関より多いと感じている施工者は25%

【Q11-2-1】Q11で③の場合、多いと感じる資料・工事書類の種類は何か(回答全76件)

【Q11-2-2】Q11で③の場合、その量はどれくらいか(回答全72件)

【Q11-1】Q11で③の場合、その理由(回答全75件)

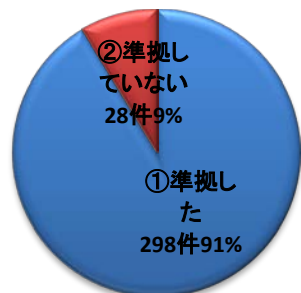
※主なもの

分類	多いと感じる資料、工事書類の種類	多いと感じる資料、工事書類の量	多いと感じる理由
立会	段階確認書	ドッジファイル1冊(8cm)、ドッジファイル1冊(6cm)	現場対応及び書類作成が、4倍程の業務量であったため
	立会い・確認	50	立会等は書類は提出していなかった。
打合せ	打合せ簿	約100枚	提出書類の裏資料(バックデータ)
安全	安全関係の書類	500	全体的(特に変更数量)に多いと思います。
新技術	新技術活用申請書・報告書	30ページ	提出する調査書類が多いから

## 施工者 2. 二重納品の排除

【Q12】電子納品等運用ガイドラインにより工事完成図書の一部を除いて二重納品が排除されたが、これに準拠したか

回答件数 326件



### <参考>

- ・ガイドラインによる電子納品対象は、写真・施工計画書・打合せ簿・段階確認書・完成図・管理台帳(施設管理・品質記録)等
- ・上記の内、二重納品対象は、完成図・管理台帳(施設管理・品質記録)

電子納品等運用ガイドラインに準拠したのは91%

## 施工者 3. 通常の見査(電子見査を除く)

【Q13】業務効率化の通達により見査の効率化が図られたか

回答件数 315件

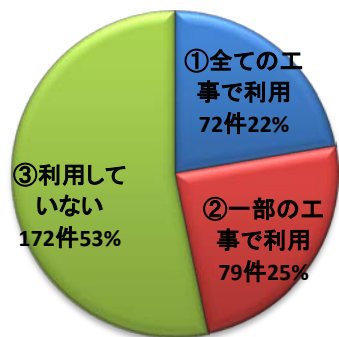


業務効率化の通達により、見査の効率化が図られたのは92%



【Q14】担当工事で情報共有システムを利用したか。

回答件数 323件



情報共有システムを全・一部工事で利用しているのは47%

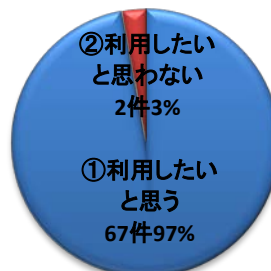
全ての工事で利用した場合

一部の工事で利用した場合

利用していない場合

【Q14】①の場合、今後も利用したいと思うか

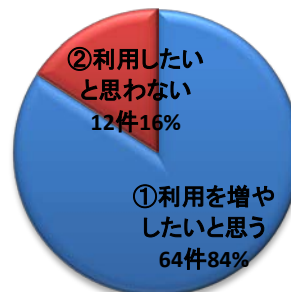
回答件数 69件



情報共有システムを全工事で利用している場合、今後の利用希望は97%

【Q14】②の場合、今後は利用を増やしたいと思うか

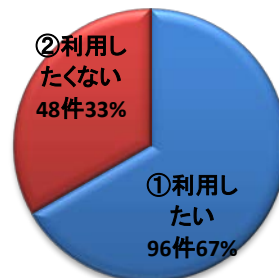
回答件数 76件



情報共有システムを一部工事で利用している場合、今後の利用増の希望は84%

【Q14】③の場合、今後は利用したいと思うか

回答件数 144件

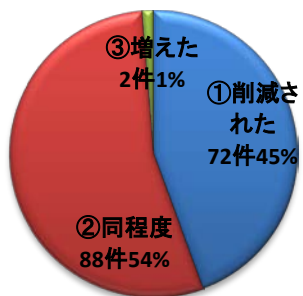


情報共有システム未利用の場合、今後の利用希望は67%

施工者 5. 電子検査について

【Q15】情報共有システムを活用したことにより、  
検査に用いた紙の量は削減されたか

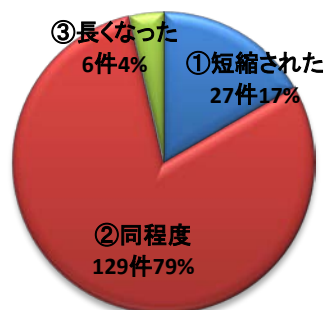
回答件数 162件



情報共有システムの活用により、検査で使用した紙資料量が削減されたのは45%

【Q16】情報共有システムを活用したことにより検査に要する時間は短縮されたか

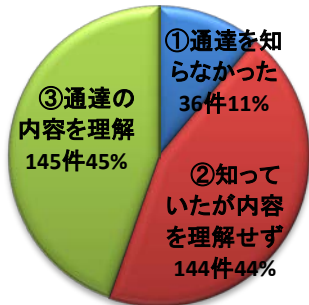
回答件数 162件



情報共有システムを活用した場合、検査時間が同程度・長くなったのは83%

【Q17】「土木工事における受発注者の業務効率化の推進について」「土木工事における受発注者の業務効率化の実施について」の通達内容

回答件数 325件



業務効率化の通達を知らなかったのは11%

通達を  
知らなかった場合

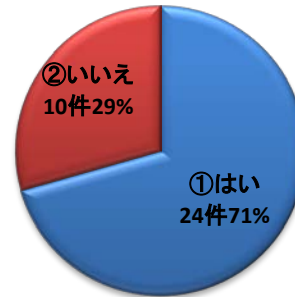


知っていたが  
内容を理解せず



【Q17-1】Q17で①の場合、通達及び内容について理解していたら業務効率化が図られたと思うか

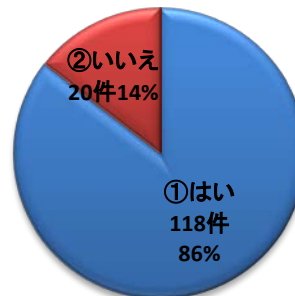
回答件数 34件



通達不知の場合で、内容を理解していたら業務効率化が図られたと思うのは71%

【Q17-2】Q17で②の場合、内容を理解していたら業務効率化が図られたと思うか

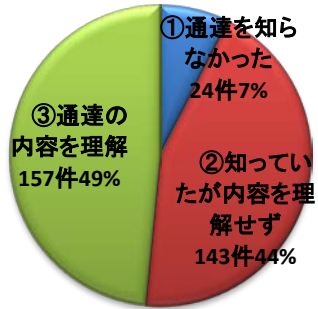
回答件数 138件



内容を理解していたら業務効率化が図られたと思うのは86%

【Q18】「土木工事における電子納品の運用等の策定について」の通達および内容の理解

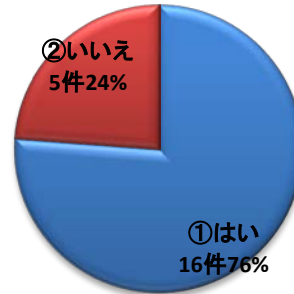
回答件数 324件



電子納品の通達を知らなかったのは7%

【Q18-1】Q18で①の場合、理解していたら業務効率化が図れたと思うか

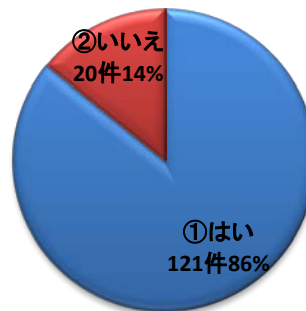
回答件数 21件



通達を理解していたら業務の効率化が図られたと思うのは76%

【Q18-2】Q18で②の場合、内容を理解していたら業務効率化が図れたと思うか

回答件数 141件



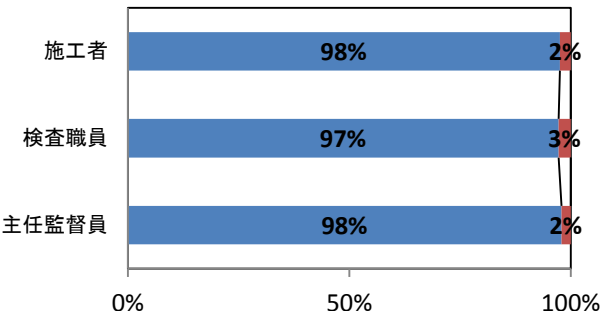
通達の内容を理解していたら業務の効率化が図られたと思うのは86%

通達を  
知らなかった場合

知っていたが  
内容を理解せず

削減した工事書類や提出から提示に変わった工事書類により、業務に支障があったか

■ ① 支障なし ■ ② 支障あり



1) 書類削減により、業務に支障がなかったのは三者同様に97%以上

書類は一覧表に準拠したか → 書類作成の業務量は減ったか → 書類作成の業務量の削減率

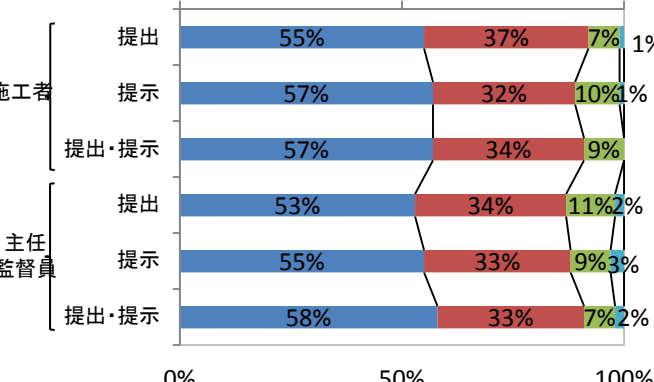
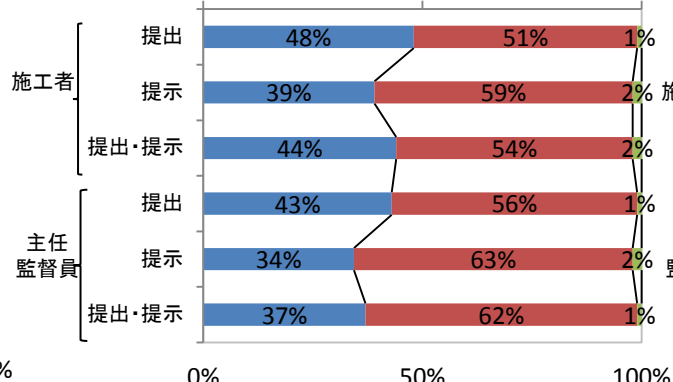
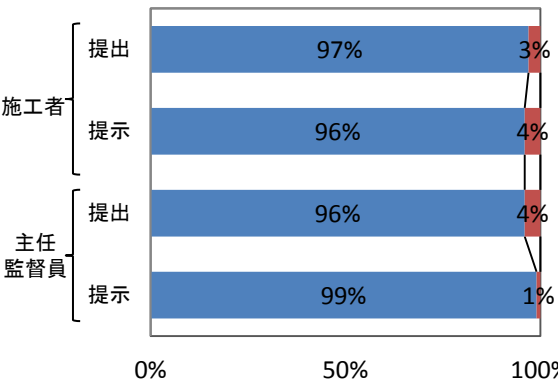
準拠した場合

削減した場合

■ ① 準拠した ■ ② 準拠していない

■ ① 減った ■ ② 変わらない ■ ③ 増えた

■ ① 1割以下 ■ ② 1~3割未満 ■ ③ 3割~5割未満 ■ ④ 5割以上



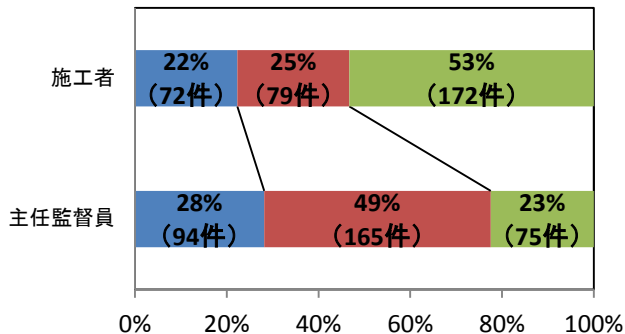
2) 提出・提示書類の一覧表準拠は二者同様に96%以上

3) 施工者の方が、主任監督員より書類作成業務量が減ったと感じている

4) 削減率は施工者と主任監督員で大きな差はない

担当工事で、情報共有システムを利用したか

■①全ての工事 ■②一部の工事 ■③利用していない

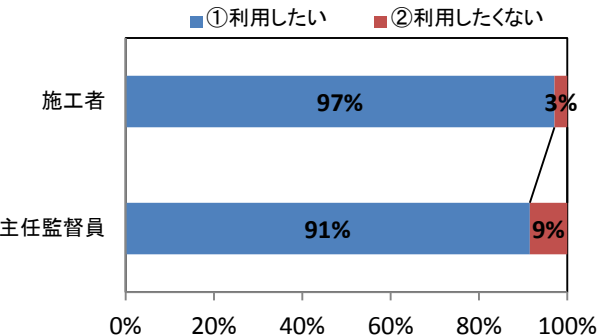


5) 施工者の方が主任監督員より利用率が低い

※両者の差は、主任監督員は複数工事を同時に担当できるのに対し、施工者(現場代理人)は専任であるためと思われる。

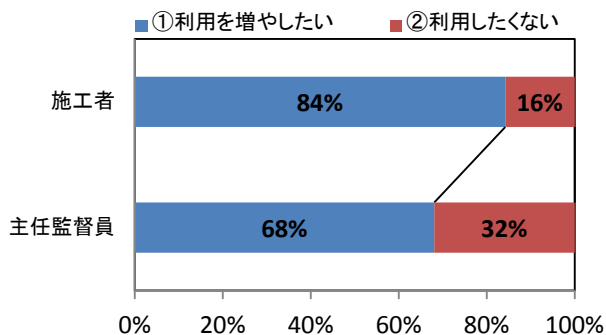
①全工事で利用の場合

今後も利用したいと思うか



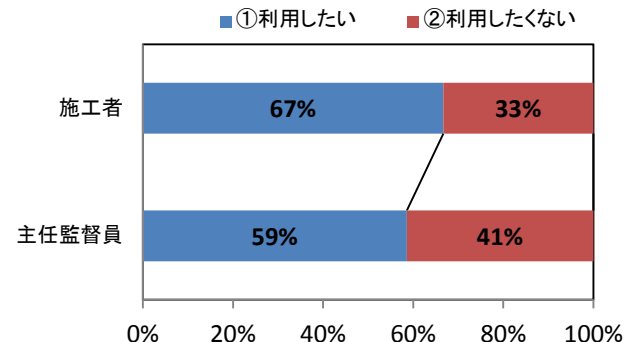
②一部工事で利用の場合

今後は利用を増やしたいか



③未利用の場合

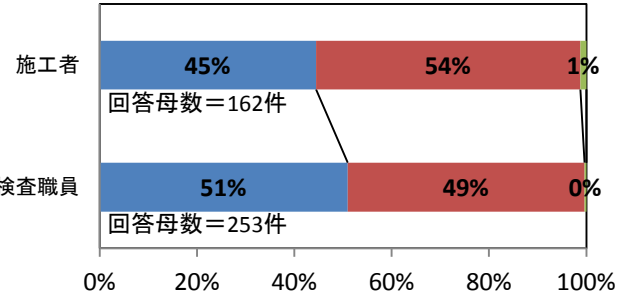
今後は利用したいか



6) 利用している人ほど、今後の利用希望が多い  
また、施工者の方が主任監督員より、利用希望が多い

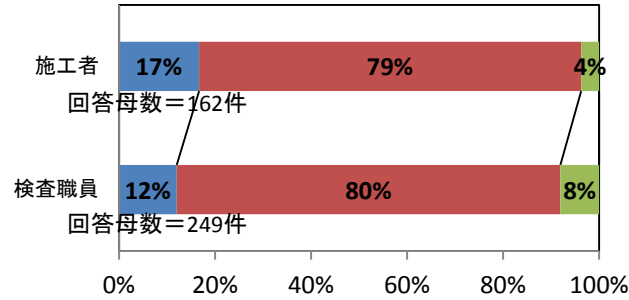
### 情報共有システム活用による 検査の紙資料の量

■ ① 少なくなった ■ ② 変わらない ■ ③ 増えた



### 情報共有システム活用による検査時間

■ ① 短くなった ■ ② 変わらない ■ ③ 長くなった



7) 検査の紙資料の量が少なくなったと感じたのは、  
検査職員の方が施工者より多い

8) 検査時間の増減については、施工者と検査職員  
ともに「変わらない」が約8割